



大村 愛知県 知事再選



■愛知県知事選挙 [大村氏 1,629,147 票当選 小松女史 391,308]



1月28日 大村候補が午前9時から稲沢市役所前の交差点で街頭演説、鈴木も民主党県議会として応援演説を行いました。

1月15日告示、2月1日投票の第18回愛知県知事選挙は、民主党、自民県連、公明党等が推薦する現職の大村秀章知事が共産党推薦の小松女史を破り2期目の県政を担うことになりました。心配された投票率は前回の52%には遠く及ばず過去2番目の34.93%の低投票率、稲沢市は31.59%でした。選挙戦でリニア・MRJ・FCVなどモノづくりの愛知の推進等を訴え精力的に県内を回った大村知事ですから広く県民の皆さん、少数意見にも耳を傾け日本一元気な愛知を実現するものと期待します。

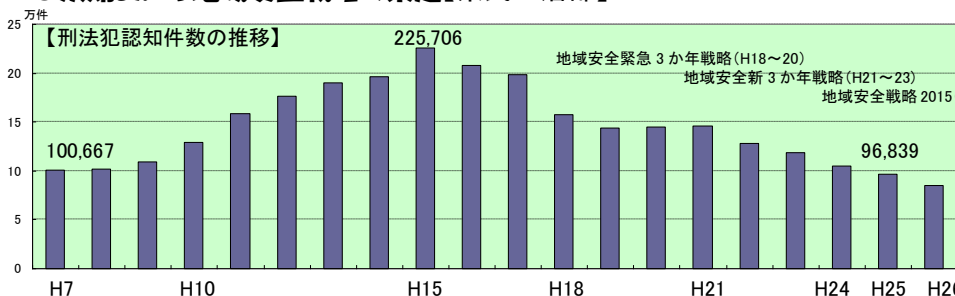


■重点事業等調査研究会

知事選告示間際の1月13、14の両日、民主党県議団の重点事業等調査研究会が開催され平成27年度予算の重点要求事業及び主要プロジェクトの進捗状況等について各部局から説明を受け取組を質しました。国の審議の関係から予算額未記載の事業も多く詳細は2月定例議会の議案説明を待ちますが何点が報告します。



●次期あいち地域安全戦略の策定【県民生活部】



愛知県の刑法犯認知件数は平成15年に戦後最多の約22万6千件を記録したため、平成16年4月には愛知県安全なまちづくり条例を施行し、平成18年を治安回復元年と位置づけ「平成17年に約20万件発生している刑法犯認知件数を平成27年までに半減させる」ことを目標に3か年戦略等に基づき、県民総ぐるみ運動など様々な取組で平成25年には約9万7千件と目標を達成。平成26年は約8万6千件(推計)となり過去30年で最少の見込み。



あいち地域安全戦略2017(仮称)では、課題である8年連続全国ワースト1位の住宅対象侵入盗、再びワースト1位の見込みの自動車盗について初めて個別目標を設定し、急増する振り込め詐欺等の特殊詐欺を加えた3つの犯罪への対策を最重点として取組むほか、犯罪弱者への対策や薬物乱用防止など強化を盛り込み3月上旬に策定予定。

●インタープリター(森の案内人)世界大会【環境部約4千万円】

愛知万博10周年事業として開催する全国都市緑化あいちフェアに併せて国内外のインタープリターを招き環境に関する取組を国内外に発信し環境首都あいちをアピール。

インタープリター世界大会10/11・12、自然体感プログラム9/12~11/8の土・日・祝など予定

●子ども・子育て支援新制度について【健康福祉部約144億円(市町村計画積算)】

質の高い教育・保育の総合的な提供や地域における子ども・子育て支援の充実を図るため4月本格実施が予定される認定こども園制度の改善、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付・小規模保育等への給付の創設等。

インタープリター=interpreter
自然観察や自然体験を通して自然が発するメッセージの意味や自然の価値を伝えること(インタープリテーション)を行う人です。



STEP 21 県政 REPORT



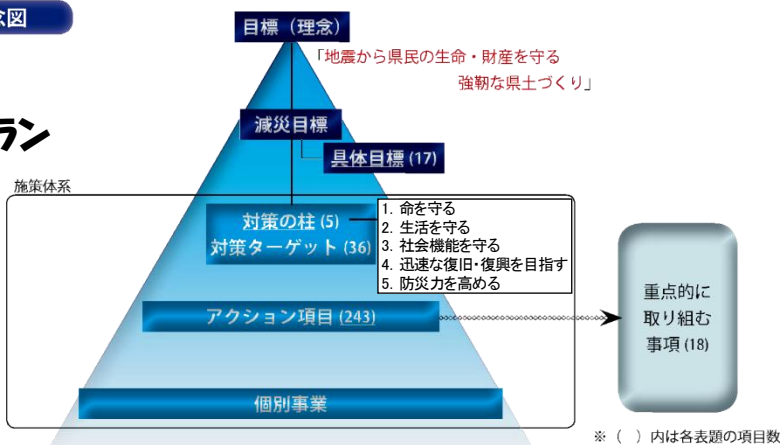
民主党県議団 すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

1501 変 1502+

■第3次あいち地震対策アクションプラン

地震から県民の生命・財産を守る強靱な県づくりを目標(理念)とした、過去地震最大モデルの想定を対策の軸とし、理論上最大想定モデル(≡南海トラフ巨大地震)についても「命を守る」観点で補足的に参照する計画期間平成 27 年度～35年度の第3次地震対策アクションプランが策定されました。



減災目標：被害予測調査結果(過去地震最大モデル想定)に対しての減災目標を設定

死者数 約 6,400 人→約 1,200 人 (約 8 割減)

建物の全壊・焼失棟数 約 94,000 棟→約 47,000 棟 (約 5 割減)

具体目標：目標(理念)及び減災目標を達成するための個別の具体目標を設定

住宅の耐震化率 85%→95%(H32 年度)、家具の固定率 56%→65%(H35 年度)等 17 項目
減災目標の達成により見込まれる経済被害に対する減災効果は、直接的経済被害約 13.86 兆円→8.95 兆円、間接的経済被害約 3.00 兆円→約 2.22 兆円と試算。

●家具等転倒防止対策推進事業費【防災局約 1 千万円】

家具の転倒・落下防止対策は減災効果が大きくアクションプランで重点的取組事項。家電・家具の販売業者、引越業者、ボランティア団体等を構成員とする、家具固定推進検討会(仮称)の設置や県民向け啓発イベントとして家具等転倒防止対策推進フェア(仮称)を開催する。

●ゼロメートル地帯広域防災拠点整備検討調査費【防災局約 5 百万円】

木曽三川下流域、西三河南部および東三河南部のゼロメートル地帯において、南海トラフ地震の発生に伴う堤防の破損による海水等の流入や津波の襲来により防災活動拠点が浸水する可能性が明らかになったため、浸水対策を完備した広域的な防災活動拠点を整備するための候補地等について調査。

■一宮市長選 [中野氏 40,752 票当選 神戸氏 35,795 細谷氏 27,279 高橋氏 14,101 鈴木氏 8,916]



稀に見る激戦となった一宮市長選は、投票率 42.50%と前回の 32.33%を大きく上回りました。当選された中野氏は当初谷市長の後継として、また保守系の統一候補として本命とされていましたが、昨年末に突然の保守分裂(所謂海部系 vs 江崎系?)となり、連合・民主推薦の細谷氏も交えての混戦となりました。選挙戦は合併を台無しにするような「尾西の方」という発言もあり残念でしたが、稲沢同様合併 10 年の節目を迎える一宮市にしこりが残らないことを願います。

■民主党新代表に岡田克也氏



1 月 18 日に臨時党大会が開催され、鈴木は特別代議員として、前日に会場入りし事前説明会、翌朝 5 時からの党員・サポーター及び地方議員の開票、午後 2 時からの代表選の立会を行いました。地方票を含めた最初の投票では、細野氏がリードしましたが過半数に届かず、細野、岡田両候補の国会議員等による決戦投票の結果、僅差で岡田氏が新代表に選出されました。鈴木は前から 3 列目、左右は静岡県連の桜町県議(細野選対)、三重県連の日冲県議(岡田選対)と緊張感の漂う席でした。

イベント

2 月 4 日名古屋競輪議会特別委員会
6 日叙勲受章記念祝賀会
11 日社会福祉大会
14 日稲沢ライオンズクラブメインアクト
「子ども安全フェスティバル」



豊田合成、名大、名城大主催の赤崎先生

天野先生をお迎えしてのノーベル賞受賞の記念式典では、不屈、信念、情熱など総理をはじめ多くの賛辞が寄せられました。イスラムの残念な事件を乗り越えて、本年も宜しくお願い申し上げます。未来へつづくまちづくりへ一生懸命働きます。愛知県議員 鈴木じゅん